

「生涯就業力」を磨く

何があってもどこにあっても、
しなやかに、^{きょうじん}強靱に
“あなたらしく生きる力”を磨きましょう。

シンポジウム登壇者プロフィール

大日向雅美

お茶の水女子大学・同大学院修士課程修了／東京都立大学大学院博士課程満期退学。学術博士。1989年より恵泉女学園大学に勤務、2016年から現職。40年余り母親の育児ストレスや育児不安を研究。NPO法人「あい・ぼーとステーション」代表理事、子育てひろば「あい・ぼーと」施設長として地域の子育て・家族支援にも取り組んでいる。2016年6月男女共同参画社会づくり功労者内閣府総理大臣賞受賞。

キムウンシル

金 恩 實 先生

1993年カリフォルニア大学（UC）で学位取得、95年から梨花女子大学女性学科で教鞭をとる。韓国の国民・国家形成と近代化過程における女性の変容をテーマに、女性の身体（「身」）に関する近代性、民族主義について研究を行う。現在はグローバル化、知識および権力と女性、アジア女性、植民地等をめぐって、ジェンダー学、近代文化史学の立場から広く研究活動を行い内外に発信を行っている。
主な著作に『女性の身体、「身」の文化政治学』、『性解放、性政治』（共著）、「民族談論と女性」、「植民地知識人ナヘソックの近代性を問う」など。

内海房子さん

国立女性教育会館理事長。津田塾大学数学科卒業後、1971年にNECへ入社。ソフトウェア開発に関わり技術課長を経て人事部に異動し、人事・人材育成を担当、人事担当部長等を歴任して2005年NECラーニング株式会社社長に就任する。2011年7月から現職。

澤登早苗

文科省奨学生としてNZ、マッセイ大学大学院留学、83年同ディプロマコース修了。東京農工大学大学院連合農学研究科修了、農学博士。恵泉女学園大学教授。日本有機農業学会会長。専門：農学（園芸学・食農教育論）。94年から恵泉女学園大学で「生活園芸」を担当。持続可能な社会を構築するために国内外で有機農業の推進に情熱を注ぐ一方、2003年から南青山の子育て支援施設「あい・ぼーと」で有機菜園教室を開催。食・農・環境をつなぐ有機園芸プログラムの開発を通して、そこには人が生きていくうえで必要なものがすべて含まれていると提唱し、実践的な教育により実証している。主著『教育農場の四季』（コモンズ、2005）。

恵泉女学園大学アクセス

駅から大学までは、スクールバスまたは路線バスをご利用下さい。

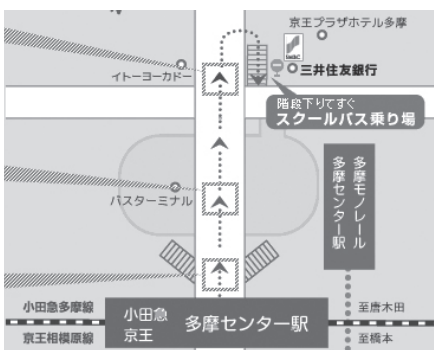
小田急・京王・多摩都市モノレール 「多摩センター駅」下車

■スクールバス御案内

当日は多摩センターから無料スクールバスを10分間隔でピストン運行しております（9～17時）。所要時間は約10分です。

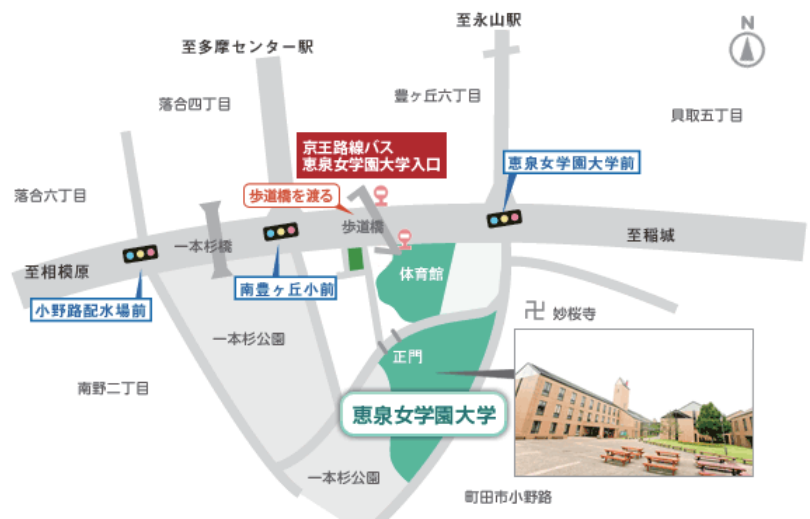
■スクールバス乗場御案内

多摩センター駅。京王プラザホテルの直前の階段を下る。下の地図をご参照ください。



■路線バス案内

- 多摩センター駅バス乗り場 8番 恵泉女学園大学入口下車、徒歩4～5分
京王多摩車庫前下車、徒歩10分
- 多摩市ミニバス東西線（永52、永53）豊ヶ丘5丁目バス停下車、徒歩9分
- 鶴川駅バス乗り場 5番（多04） 恵泉女学園入口下車



女性の「生涯就業力」と女子大学の新しい役割 part2

生涯就業力ミニシンポジウム

梨花×恵泉 女性の生き方

女性活躍推進の時代と言われながら、女性の人生にはまだまだ多くのハードルがあります。女性の生き方に目を留めるとき、女子大学の存在意義、現代社会に果たすべき役割を考えずにはられません。

韓国梨花女子大学の先進的な事例を聞き、現代日本における女子大学の教育力と、女性の人生の可能性に目を向けてみましょう。

さて、議論の余地はあるのでしょうか。昨秋開催された大学・大学院シンポジウム（女性の生涯就業力と高等教育の新しい役割）の連続企画です。

日 7月17日(月)祝
時 13:30~16:00
開場 13:00

場 恵泉女学園大学
所 J棟202教室

申し込み不要 参加無料



基調メッセージ
大日向雅美

恵泉女学園大学長



講演
キムウンシル
金恩實

梨花女子大学教授、同大
アジア女性学センター長



コメンテーター
内海房子

国立女性教育会館理事長



コメンテーター
澤登早苗

恵泉女学園大学教授

お問合せ先

恵泉女学園大学 (担当: 土屋、野間田)

TEL 042-376-8211 (代)

042-376-8371

E-mail shomuka@keisen.ac.jp

恵泉女学園大学 <http://www.keisen.ac.jp>

平和文化研究所 <http://www.keisen.ac.jp/extension/research/peace/>

主催 恵泉女学園大学・恵泉女学園大学平和文化研究所